（分担研究報告書）

Web上におけるがんに関するガイドラインの公開状況について

研究協力者　西迫　宗大　国立がん研究センター がん対策研究所 がん情報提供部（特任研究員）
研究代表者　若尾　文彦　国立がん研究センター がん対策情報センター本部（副本部長）

研究要旨

本研究は、医療ガイドラインのAI活用を視野に入れた情報支援システムの基盤整備を目的として、Web上で無料公開されているがん関連ガイドラインの現状を網羅的に調査・整理した。対象は、2026年3月時点で入手可能な過去5年以内に発行されたがん診療に関する73編のガイドライン（医療者向け・患者向け）であり、それらのWeb公開状況、公開形式（HTML/PDF）、対象がん種、旧版の掲載有無、ならびに過去3年間における公開状況の変化を分析した。その結果、73編のうち64編がWeb上で公開されており、そのうち84%が現行版であった。公開形式はPDFが多数を占め、身体領域別においても広範囲をカバーしていた。一方で、Web上で公開されていないガイドラインは9編存在し、その多くは書籍または有料電子版として提供されていた。また、旧版のみが公開されているガイドラインも10編認められた。さらに、過去1年間の変化として、2024年時点でWeb上で利用可能であった7編が2025年には利用できなくなった一方、新たに7編が公開されており、公開状況が年度ごとに変動することが確認された。これらの変化は、改訂や出版のタイミングに伴うものであり、ガイドラインの公開が必ずしも安定的ではないことを示唆している。以上より、がん関連ガイドラインは量的には一定の整備が進んでいるものの、公開形式の偏在、非公開情報の存在、ならびに公開状況の動的変化といった課題が明らかとなった。今後は、AIによる継続的かつ安定した活用を見据え、機械可読性を考慮した公開形式の整備とともに、更新情報を含めた情報提供体制の強化が求められる。

A．研究目的

近年、医療分野においてはAI技術の進展に伴い、診療支援や情報検索の高度化が期待されている。特に医療ガイドラインは、エビデンスに基づく標準的診療を体系的にまとめた重要な情報資源であり、これらをAIが横断的に理解・活用することにより、医療従事者の意思決定支援や情報アクセスの効率化に寄与できることを本研究班で報告してきた。

医療ガイドラインをAIで活用するためには、Web上に公開されたガイドラインのテキストを適切に取得・構造化し、機械可読な形式で取り扱う必要がある。その前提として、どのがん種において、どのような形式（HTML/PDF等）で、どの程度の範囲のガイドラインが利用可能であるかをリアルタイムで把握することが不可欠である。また、ガイドラインごとに記載形式や構造が異なること、内容が専門的かつ膨大であること、さらに定期的な改訂が行われることなど、AI活用の観点からも複数の課題が存在する。一方で、医療ガイドラインは、診療の標準化と質の向上を目的として医療従事者に広く利用されており、特にがん診療においては患者への説明や意思決定支援の場面で日常的に活用されている。しかし、その情報量と専門性の高さから、短時間で必要な情報を抽出することは容易ではなく、検索・活用には一定の経験や知識が求められている。

以上を踏まえ、本研究では、医療者向け情報支援データベースの構築およびAIによるガイドライン活用を見据え、Web上で公開されているがん関連ガイドラインを網羅的に調査することを目的とした。さらに、Web公開の現状を整理し、AI活用の観点から解決すべき課題を抽出・考察する。

B．研究方法

がんに関する各種ガイドラインの状況を確認した。2026年3月時点で入手可能ながん関連ガイドラインを対象に、そのWeb公開状況、属性、および過

去2年間における公開状況の変化を分析した。なお、本研究において「ガイドラインのWeb公開」とは、Web上で購入手続きを経ることなく（すなわち無料で）、現行版ガイドラインの内容を閲覧可能な状態と定義した。

1. ガイドラインの確認とWeb公開状況

2026年3月時点において、過去5年以内に出版されたがん関連の「医療者向けガイドライン」（以下、「医療者向け」）および「解説・患者向けガイドライン」（以下、「患者向け」）計73編を対象とし、ガイドラインのWeb公開状況（Web版公開の有無および現行版掲載の有無）を記録した。

2. Web公開されているガイドラインの属性

前項 1. で記録したガイドラインのうち、Web公開されているものを抽出し、ガイドライン名称、公開形式（HTML／PDF）、対象がん種・部位、医療者向け／患者向け区分、ガイドライン内容（個別がん／横断的）、編著者の記載およびその内訳について集計を行った。

3. その他のガイドライン（Web公開なし/現行版の掲示なし）の記載

前項2. の対象とならなかったガイドラインについて、名称および編著者を確認した。さらに、旧版のWeb公開の有無を確認し、旧版のWeb公開を認めなかった場合には、その開示形式について調査を行った。

4. 過去2年間におけるWeb公開の偏移

2024年1月時点（以下、「2024年」）、2025年3月時点（以下、「2025年」）、および2026年3月時点（以下、「2026年」）におけるWeb掲載状況の推移について解析を行った。

令和5年度および令和6年度「科学的根拠に基づくがん情報の提供及び均てん化に向けた体制整備に資する研究」（23EA1026、研究代表者：若尾文彦）報告書中の「医療者向け情報支援データベースの整備 ― 原型となるプラットフォーム案の作成 ―」に記載された、2024年時点67編、2025年時点74編のガイドラインに関するWeb公開状況データを収集し、個々のガイドラインの状況を比較した。

さらに、2026年時点において、新たにWeb公開が確認されたガイドライン、および過去には掲載されていたもののWeb公開が確認できなくなったガイドラインについて名称を記録し、その内訳を集計した。なお、年度間比較においてデータ欠損を認めた場合には、解析対象から除外した。

（倫理面への配慮）

本研究は、個人情報を取り扱うことはない。したがって、個人情報保護上は特に問題は発生しないと考える。

C. 研究結果

1. がんに関するガイドラインのWeb公開状況（図）

73編の解析対象ガイドラインのうち、Web公開が確認されたものは64編であり、全体の88%を占めた。このうち、現行版がWeb公開されていたものは54編であり、Web公開されているガイドラインの84%を占めた。現行版の公開形式としては、PDF形式が33編、HTML形式が21編であり、PDF形式による公開がHTML形式より多く認められた（61% *vs.* 39%）。

2. Web公開されているガイドラインの属性 (表1, 表2)

Web上で無料公開され、公開形式がHTMLであったガイドラインは21編であった。そのうち、患者向けは5編、医療者向けは16編であった。内容別では、個別がんを対象としたものが16編、横断的内容を扱うものが5編であった。対象がん種を身体領域ごとに分類すると、胸部（肺がん、乳がん等）が5編、消化管（大腸がん等）が4編、脳神経（脳腫瘍）および女性特有がそれぞれ2編、泌尿器（腎がん・膀胱がん）、肝胆膵、血液・リンパがそれぞれ1編であった。その他の5編には、リハビリテーション、妊孕性、高齢者等に関するガイドラインが含まれていた。同様に、公開形式がPDFであったガイドラインは33編であり、そのうち患者向けは3編、医療者向けは30編であった。内容別では、個別がんを対象としたものが15編、横断的内容を扱うものが18編であった。対象領域別では、肝胆膵および女性特有（子宮体がん、卵巣がん）がそれぞれ3編、男性特有（前立腺がん）が2編、頭頸部、消化管、血液・リンパがそれぞれ1編であった。その他の23編には、希少がん、がん疼痛、陽子線治療、せん妄、アピアランスケア、コミュニケーション、遺族ケア、腎障害等に関するガイドラインが含まれていた。

3. その他のガイドライン（Web公開なし/現行版の掲示なし） (図, 表3)

解析対象とした73編のうち、Web上で公開されていないガイドラインは9編であり、いずれも書籍版

のみ、もしくは有料電子版として提供されていた。また、10編については、旧版のみがWeb上で無料公開されていた。

4. 過去3年間におけるWeb公開の偏移 (表4)

2026年時点において、新たにWeb上で利用可能となったガイドラインは5編であった。そのうち4編は改訂版の刊行に伴う新規掲載であり、1編は新たにWeb公開が開始されたものであった。公開形式は、PDF形式が3編、HTML形式が2編であった。一方、2025年時点ではWeb上で利用可能であった（現行版かつ無料公開されていた）ガイドラインのうち、2026年時点で利用できなくなったものを5編認めた。これらはいずれも新刊が発行されていたものの、Web上での公開が開始されていない状態であった（なお、いずれも旧版の閲覧は可能であった）。また、2024年から2025年の間にWeb公開が終了し、2026年時点においても閲覧再開が確認できなかったガイドラインは4編であった。

D. 考察

生成AIによる医療情報の活用は今後さらに拡大する。特にがん領域では対象部位が多岐にわたり、複数のガイドラインを横断的に参照する必要があるため、AIによる情報統合の意義は大きい。本研究では、がんに関するガイドラインのWeb公開状況を網羅的に調査し、その可用性およびAI活用の観点からの課題を明らかにした。

ガイドラインのWeb公開状況とAI活用可能性

本研究において、解析対象としたガイドラインの88%がWeb上で公開されており、量的には十分な情報基盤が整備されていることが示された。しかしながら、現行版がWeb上で確認可能であったのはそのうち84%にとどまり、「Web上に存在すること」と「最新の情報として利用可能であること」との間に乖離が認められた。この点は、最新性が要求される医療AIにとって重要な制約であり、単純な情報量の評価では捉えきれない課題と考えられる。さらに、公開形式としてPDFが61%を占め、HTML形式は39%にとどまった。PDF形式は人間にとって可読性が高い一方で、構造化や情報抽出の観点では制約が多く、AI活用には追加的な処理を要する。このような形式の偏在は、AIによる横断的情報統合の効率性および精度に影響を与える要因と考えられる。加えて、HTML形式のガイドラインは個別がんを対象としたものが多い一方で、PDF形式では支持療法や緩和ケアなど横断的内容を扱うものが多く、情報構造の非対称性が認められた。このことは、AIが臨床的に重要な横断的知識を統合的に扱う際の障壁となる可能性がある。

公開状況の動的変化とその影響

本研究により、ガイドラインのWeb公開状況は固定的なものではなく、年度ごとに変動する動的な資源であることが明らかとなった。2026年には新たに5編がWeb上で利用可能となった一方で、前年に利用可能であったガイドラインのうち5編が利用できなくなっていた。これらはいずれも改訂や新刊発行に伴うものであり、最新版の公開にタイムラグが存在することが示された。このような「改訂に伴う一時的非公開」や「公開遅延」は、AIの継続的な運用において大きな課題となる。すなわち、AIが参照する情報基盤が時間的に不安定である場合、出力の一貫性や信頼性に影響を及ぼす可能性がある。したがって、今後はガイドラインの公開可否だけでなく、更新予定や公開時期、旧版の扱いなどの情報を含めた情報提供体制の整備が重要である。これにより、AI利用のみならず医療現場における情報アクセスの安定性向上にも寄与すると考えられる。

E. 結論

本研究により、がんに関するガイドラインの多くはWeb上で利用可能であり、AI活用に向けた基盤は一定程度整備されていることが示された。一方で、現行版へのアクセスの不完全性、PDF形式への偏在、非公開または限定公開のガイドラインの存在、さらに改訂に伴う公開状況の変動など、AI活用の観点からの課題が明らかとなった。特に、ガイドラインのWeb公開は固定的な資源ではなく、改訂や出版の影響を受けて変動する動的な情報基盤であることが示され、この点はAIによる継続的な情報活用において重要な制約となる。

今後は、ガイドラインの継続的な公開状況の把握に加え、機械可読性を考慮した形式での提供や、更新情報を含めたメタデータの整備が求められる。これらの取り組みにより、AIによる医療情報の活用基盤が強化され、医療従事者の情報探索支援および患者への情報提供の質向上につながることが期待される。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 書籍発表 なし
2. 学会発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む）

1. 特許取得　　なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他　　なし

資料

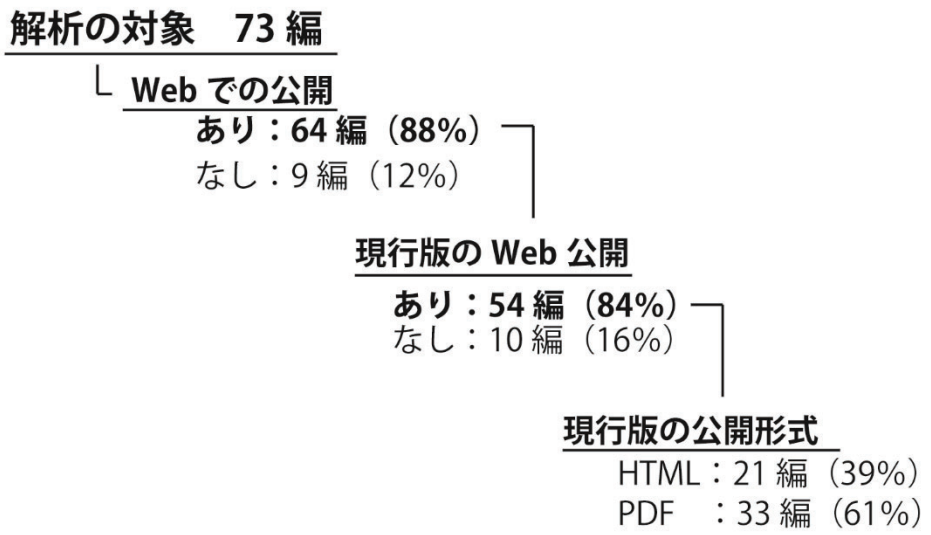


図. がんに関するガイドラインのWeb公開状況（2026年3月現在）

表1. Web上において無料・HTMLファイル形式で掲出されているガイドライン；21編（2026年3月現在）

	ガイドライン名称	表示形式	部位	対象	内容	編著
1	患者さんのための肺がんガイドブック 2024年度版	HTML	胸部	患者	個別がん	日本肺癌学会
2	患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2023年版　第7版	HTML	胸部	患者	個別がん	日本乳癌学会
3	遺伝性乳がん卵巣がんを知ろう！ みんなのためのガイドブック 2022年版	HTML	女性特有	患者	個別がん	ゲノム情報を活用した遺伝性腫瘍の先制的医療提供体制の整備に関する研究班 ／日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療機構（JOHBOC）
4	患者さんのための大腸癌治療ガイドライン 2022年版　第4版	HTML	消化管	患者	個別がん	大腸癌研究会
5	大腸癌治療ガイドライン 医師用 2024年版	HTML	消化管	医師	個別がん	大腸癌研究会
6	脳腫瘍診療ガイドライン　成人脳腫瘍編　２０２４年	HTML	脳・神経	医療者	個別がん	日本脳腫瘍学会/編 日本脳神経外科学会/監修
7	脳腫瘍診療ガイドライン 小児脳腫瘍編 2021年版	HTML	脳・神経	医療者	個別がん	日本脳腫瘍学会
8	肺癌診療ガイドライン -悪性胸膜中皮腫・胸腺腫瘍含む2024年版　Ver.1.1	HTML	胸部	医療者	個別がん	日本肺癌学会
9	乳癌診療ガイドライン2022年版　治療編	HTML	胸部	医療者	個別がん	日本乳癌学会
10	乳癌診療ガイドライン 2022年版　疫学・診断編	HTML	胸部	医療者	個別がん	日本乳癌学会
11	GIST診療ガイドライン 2022年版	HTML	消化管	医療者	個別がん	日本癌治療学会
12	膵・消化管神経内分泌腫瘍（NEN）診療ガイドライン2019年（第2版）	HTML	肝胆膵	医療者	個別がん	日本神経内分泌腫瘍研究会（JNETS）/膵・消化管神経内分泌腫瘍診療ガイドライン作成委員会編
13	腎盂・尿管癌診療ガイドライン　2023年版	HTML	腎・尿管・膀胱	医療者	個別がん	日本泌尿器科学会
14	造血器腫瘍診療ガイドライン 第3.1版（2024年版）	HTML	血液・リンパ	医療者	個別がん	日本血液学会
15	成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療のガイドライン　第3版☒	HTML	その他	医療者	横断的	☒本臨床腫瘍学会 ／ 日本癌治療学会 ／ 日本小児血液・がん学会
16	高齢者のがん薬物療法ガイドライン	HTML	その他	医療者	横断的	日本臨床腫瘍学会/日本癌治療学会
17	がんのリハビリテーション診療ガイドライン（第2版）	HTML	その他	医療者	横断的	日本リハビリテーション医学会 / がんのリハビリテーションガイドライン策定委員会編
18	G-CSF適正使用ガイドライン2022年10月改訂　第2版	HTML	その他	医療者	横断的	日本癌治療学会
19	乳癌患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療ガイドライン　2021年版　第3版	HTML	その他	医療者	横断的	特定非営利活動法人日本がん・生殖医療学会
20	遺伝性乳癌卵巣癌（HBOC）診療ガイドライン　2024 年版	HTML	女性特有	医療者	個別がん	日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療機構（JOHBOC）
21	遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2024年版	HTML	消化管	患者	個別がん	大腸癌研究会

表2. Web上において無料・PDFファイル形式で掲出されているガイドライン；33 編　(2026年3月現在)

	ガイドライン名称	表示形式	部位	対象	内容	編著
1	患者さんと家族のためのがんの痛み治療ガイド　増補版	PDF	その他	患者	横断的	日本緩和医療学会　ガイドライン統括委員会
2	2024度版甲状腺腫瘍診療ガイドライン	PDF	頭頸部	医療者	個別がん	日本内分泌外科学会/日本甲状腺外科学会
3	肝癌診療ガイドライン　2021年版　第5版	PDF	肝胆膵	医療者	個別がん	日本肝臓学会
4	肝内胆管癌診療ガイドライン2021年版	PDF	肝胆膵	医療者	個別がん	日本肝癌研究会
5	転移性肝がん診療ガイドライン	PDF	肝胆膵	医療者	個別がん	日本肝胆膵外科学会
6	前立腺癌診療ガイドライン2023年版	PDF	男性特有	医療者	個別がん	日本泌尿器科学会編
7	腹膜播種診療ガイドライン　2021年版	PDF	その他	医療者	個別がん	日本腹膜播種研究会
8	後腹膜肉腫診療ガイドライン	PDF	その他	医療者	個別がん	日本サルコーマ治療研究学会，日本癌治療学会
9	子宮頸癌治療ガイドライン 2022年版　第4版	PDF	女性特有	医療者	個別がん	日本婦人科腫瘍学会
10	子宮体がん治療ガイドライン2023年版　第5版	PDF	女性特有	医療者	個別がん	日本婦人科腫瘍学会
11	卵巣がん、卵管癌、腹膜癌治療ガイドライン　2025年版	PDF	女性特有	医療者	横断的	日本婦人科腫瘍学会
12	皮膚悪性腫瘍診療ガイドライン　第4版　メラノーマ診療ガイドライン2025	PDF	その他	医療者	個別がん	日本皮膚科学会 / 日本皮膚悪性腫瘍学会
13	原発不明がん診療ガイドライン　改訂第2版	PDF	その他	医療者	個別がん	日本臨床腫瘍学会編
14	軟部腫瘍診療ガイドライン2020　改訂第3版	PDF	その他	医療者	個別がん	日本整形外科学会
15	原発性悪性骨腫瘍診療ガイドライン2022	PDF	その他	医療者	個別がん	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会，原発性悪性骨腫瘍診療ガイドライン策定委員会
16	骨転移診療ガイドライン改訂第2版	PDF	その他	医療者	個別がん	日本臨床腫瘍学会
17	高齢者がん診療ガイドライン2025年版	PDF	その他	医療者	横断的	高齢者がん診療ガイドラインとその普及のための研究研究班
18	進行性疾患患者の呼吸困難の緩和に関する診療ガイドライン 2023年版　第3版	PDF	その他	医療者	横断的	日本緩和医療学会 ガイドライン統括委員会
19	がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2020年版　第3版	PDF	その他	医療者	横断的	日本緩和医療学会
20	がん患者の治療抵抗性の苦痛と鎮静に関する基本的な考え方の手引き 2023年版　第3版	PDF	その他	医療者	横断的	日本緩和医療学会 ガイドライン統括委員会
21	がん薬物療法に伴う末梢神経障害診療ガイドライン 2023年版　第2版	PDF	その他	医療者	横断的	日本がんサポーティブケア学会
22	がん患者の消化器症状の緩和に関するガイドライン2017年版	PDF	消化管	医療者	横断的	日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン作成委員会編
23	がん薬物療法に伴う血管外漏出に関する合同ガイドライン 2023年版　第3版	PDF	その他	医療者	横断的	日本がん看護学会/日本臨床腫瘍学会/日本臨床腫瘍薬学会
24	がん治療におけるアピアランスケアガイドライン 2021年版　第2版	PDF	その他	医療者	横断的	日本がんサポーティブケア学会
25	がん医療における患者-医療者間のコミュニケーションガイドライン 2022年版	PDF	その他	医療者	横断的	日本サイコオンコロジー学会 / 日本がんサポーティブケア学会
26	遺族ケアガイドライン 2022年版	PDF	その他	医療者	横断的	日本サイコオンコロジー学会 / 日本がんサポーティブケア学会
27	小児白血病・リンパ腫の診療ガイドライン	PDF	その他	医療者	横断的	日本小児血液・がん学会
28	小児がん診療ガイドライン	PDF	その他	医療者	横断的	日本小児血液・がん学会
29	小児・AYA世代の腫瘍に対する陽子線治療の診療ガイドライン　2019年	PDF	その他	医療者	横断的	日本小児血液・がん学会
30	がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン2022	PDF	その他	医療者	横断的	日本腎臓学会
31	精巣癌診療ガイドライン　2024年	PDF	男性特有	医療者	個別がん	日本泌尿器科学会編
32	よくわかるがん免疫療法ガイドブック患者さんとご家族のために	PDF	その他	患者	横断的	日本ﾊﾞｲｵｾﾗﾋﾟｨ学会「よくわかるがん免疫療法ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ」作成WG
33	がん患者診療のための栄養治療ガイドライン 2024年版 総論編	PDF	その他	患者	横断的	日本栄養治療学会

表3. 無料のWeb公開が無い・旧版のみ掲載されているガイドライン （2026年3月現在）

	ガイドライン名称	状況	編著
1	患者さんのための胃がん治療ガイドライン 2026年版　第3版	Web上公開無	日本胃癌学会
2	市民のための膵がん診療ガイド 2023年版	Web上公開無	日本膵臓学会 膵癌診療ガイドライン改訂委員会
3	患者さんとご家族のための子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん治療ガイドライン第3版	Web上公開無	日本婦人科腫瘍学会
4	患者さんと家族のための放射線治療Q&A 2025年	Web上公開無	日本放射線腫瘍学会
5	患者さんのためのがんのリハビリテーション診療Q&A	Web上公開無	日本リハビリテーション医学会 日本がんサポーティブケア学会
6	十二指腸癌診療ガイドライン 2025年版	Web上公開無	十二指腸癌診療ガイドライン作成委員会
7	がん患者における気持ちのつらさガイドライン 2024年版	Web上公開無	日本頭頸部癌学会
8	口腔癌診療ガイドライン 2023年版	Web上公開無	日本臨床腫瘍学会
9	がん免疫療法ガイドライン　第3版	Web上公開無	日本サイコオンコロジー学会 ／ 日本がんサポーティブケ
1	食道癌診療ガイドライン　2022年版	旧版のみ	日本口腔腫瘍学会、日本口腔外科学会
2	リンパ浮腫診療ガイドライン　2025年版	旧版のみ	日本食道学会
3	小児・AYA世代がん患者等の妊孕性温存に関する診療ガイドライン 2024年12月改訂第2版	旧版のみ	日本リンパ浮腫学会
4	胃癌治療ガイドライン 医師用　2025年3月 第7版	旧版のみ	日本癌治療学会
5	腎癌診療ガイドライン　2026年版	旧版のみ	日本胃癌学会
6	膀胱癌診療ガイドライン2019年版増補版 2025年アップデート	旧版のみ	日本泌尿器科学会編
7	胆道癌診療ガイドライン　改訂第4版	旧版のみ	日本泌尿器科学会/編
8	膵癌診療ガイドライン 2025年版　第7版	旧版のみ	日本肝胆膵外科学会/胆道癌診療ガイドライン作成委員会　編
9	がん患者におけるせん妄ガイドライン 2025年版	旧版のみ	日本膵臓学会膵癌診療ガイドライン改訂委員会
10	頭頸部癌診療ガイドライン 2025年版	旧版のみ	日本サイコオンコロジー学会 / 日本がんサポーティブケア学会

表4. Web公開で偏移が見られたガイドライン（2024年から2026年での比較）

	ガイドライン名称	2024年	2025年	2026年	状況(2026年)
1	大腸癌治療ガイドライン 医師用 2024年版	○	×	○	改定後の新刊掲載 (HTML)
2	遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2024年版	○	×	○	改定後の新刊掲載 (HTML)
3	精巣腫瘍診療ガイドライン　2024年版	○	×	○	改定後の新刊掲載 (PDF)
4	よくわかるがん免疫療法ガイドブック患者さんとご家族のために 第２版	○	×	○	改定後の新刊掲載 (PDF)
5	がん患者診療のための栄養治療ガイドライン 2024年版 総論編		×	○	新規で公開 (PDF)
1	膀胱癌診療ガイドライン2019年版増補版 2025年アップデート	○	○	×	新刊発行（旧版閲覧可能）
2	頭頸部癌診療ガイドライン 2025年版	○	○	×	新刊発行（旧版閲覧可能）
3	胆道癌診療ガイドライン　改訂第4版	○	○	×	新刊発行（旧版閲覧可能）
4	膵癌診療ガイドライン 2025年版　第7版	○	○	×	新刊発行（旧版閲覧可能）
5	がん患者におけるせん妄ガイドライン 2025年版	○	○	×	新刊発行（旧版閲覧可能）
6	リンパ浮腫診療ガイドライン2024年版　第４班	○	×	×	新刊発行（旧版閲覧可能）
7	小児思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン2024年12月改定	○	×	×	新刊発行（旧版閲覧可能）
8	腎癌診療ガイドライン　2026年版	○	×	×	新刊発行（旧版閲覧可能）
9	患者さんと家族のための放射線治療Q&A 2025年版	○	×	×	新刊発行（旧版Web削除）

○:Webガイドラインの利用可能・×：利用不能